

令和元年度 第1回 会津若松市中小企業・小規模企業未来会議 要旨

日時：令和元年5月29日（水）15：00～17：00

場所：会津若松市役所本庁舎南側棟3階会議室

●出席者は別紙のとおり

1 開会（司会：観光商工部商工課 馬場主幹）

2 あいさつ

- ・会議主催者として、長谷川商工課長よりあいさつ

3 議事

- ・青木准教授が座長となり進行
 - ・事務局から会議の位置づけやこれまでの経過について説明
- その後、今後の取組を検討していくに当たっての会議の進め方について協議

（発言要旨）

【会議での協議テーマについて】

- ・未来会議を知ってもらうことが大切である。アピール方法や会議の着地点をどこにするのかを見出していければ。
 - ・未来会議に対する意見などを募れるような仕組みを作っていったらどうか。
 - ・中小・小規模企業と一言で言っても、その規模や経営者の考え方などが様々ある。そもそも、中小・小規模企業の自主的な努力は当たり前。どこに向かうための意見を述べれば良いのかよくわからない。議論の的を絞るためにも、数ある課題等の中から特に将来的に必要なテーマの抽出ができれば。
 - ・中小・小規模企業振興のために取り組むべきことは多いが、大きな枠の中では意見も出しにくい。事前に一定程度テーマを絞りながら進めてはどうか。実態や課題がわかっても、意見やアイデアを出す上で議論の幅が広すぎる。
- ⇒次回会議に向けては、事務局が事前に各コアメンバーを訪問し、意見交換を行い、一定程度の協議テーマを設定する。
- ⇒中小機構と市が主催するセミナーに参加可能なコアメンバーが参加し、今後の協議テーマについて考えていく。

【会議コアメンバー間における情報共有について】

- ・市が提供している「あいべあ」を利用し、メンバー間の情報共有を図っていったらどうか。
- ⇒「あいべあ」の活用の検討・準備を進める。

【コアメンバーが課題・今後取り組んでいく必要があると感じている点】

- ・後継者不在、事業承継
- ・経営実態に沿った補助金制度
- ・支援機関同士の情報共有
- ・人手不足→働き方改革、革新的技術（AI、ロボット）、生産性向上、外国人労働者
- ・軽減税率、インボイス制度への対応
- ・ICTオフィス企業との連携
- ・起業者支援、起業後の地元定着
- ・会津大学との連携→収益事業化への困難さ

4 閉会

令和元年度
会津若松市中小企業・小規模企業未来会議 コアメンバー

所属・企業名		役職	氏名（敬称略）	備考
会津大学短期大学部 産業情報学科		准教授	青木 孝弘	
中小・小規模企業者	松浦商事 株式会社	代表取締役専務	松浦 健典	会津若松商工会議所 推薦
	渡部電気工事店		渡部 由美子	あいづ商工会 推薦
	株式会社 三義漆器店	代表取締役	曾根 佳弘	県中小企業家同友会 会津地区 推薦
	TAKLAM	代表	遠藤 和輝	公益財団法人 会津青年会議所 推薦
支援機関	会津若松商工会議所	中小企業相談所長	長谷川 剛	
	あいづ商工会	事務局長	福島 正博	
	福島県中小企業団体中央会 会津事務所	専門指導員	江川 佳伸	【第1回欠席】
	会津信用金庫	本店営業部長	渡部 勝敏	
	会津商工信用組合	営業統括部部長	武田 義幸	
会津若松市観光商工部商工課		課長	長谷川 陽一	